

## 目的

- ・狩野川と暮らしの関わりを正しく理解し、地域への愛着心を養いつつ、自然災害に関する心構えと知識を備え、主体的に危険を回避する判断力を備えた個人を育成する取り組みを小学校教育のなかで展開していき、これにより子供から家庭、さらには地域へと展開させていくことを目的とする。

## 検討会の所掌

- ・上記の目的を達成するために、以下を検討会の所掌とする。

- ① 小学校教育における指導プログラムと指導方法に関する検討
- ② その他、上記の目的を達成するために必要な事項

## メンバー

- ・検討会の委員を下記に示す。なお、検討会にはアドバイザーを置き、「小学校教育における指導プログラムと指導方法」に関して、事務局が助言を求めることができる。

(平成28年12月時点)

	所 属	役 職
委員	H28年度モデル校（沼津市立第三小、伊豆市立熊坂小、伊豆の国市立長岡南小）	校 長
	沼津市 教育委員会 学校教育課	指導主事
	三島市 教育委員会 学校教育課	指導主事
	伊豆市 教育委員会 学校教育課	指導主事
	伊豆の国市 教育部 学校教育課	指導主事
	函南町 教育委員会 学校教育課	指導主事
	清水町 教育総務課	指導主事
	長泉町 教育委員会 子ども育成課	指導主事
	沼津市 河川課	課長
	三島市 企画戦略部 危機管理課	課長
	伊豆市 建設部 用地管理課	課長
	伊豆の国市 都市整備部 建設課	課長
	函南町 総務部 総務課	課長
	清水町 暮らし安全課	課長
	長泉町 地域防災課	課長
	国土交通省 気象庁 東京管区气象台 静岡地方气象台	防災管理官
	国土交通省 中部地方整備局 沼津河川国道事務所	副所長（河川）

	所 属	役 職	氏 名
アドバイザー	常葉大学 社会環境学部 社会環境学科	教 授	重川 希志依
	名城大学 都市情報学部 都市情報学科	教 授	柄谷 友香

回数	開催日時	内容
第1回	平成28年7月20日（水） 10時00分～	①防災・河川環境教育を進める背景について ②狩野川流域防災・河川環境教育検討会 規約（案） ③防災・河川環境教育実践ガイドの進捗報告について ④モデル校およびアドバイザーへのヒアリング結果について ⑤試行授業の効果計測の方法（案）について ⑥意見交換 <テーマ>次年度以降、「狩野川に学ぶ～防災・河川環境教育実践ガイド～」を多くの学校で使用して頂くためには、どのような活動を行っていくべきか。
第2回	平成28年12月19日（月） 10時00分～	①狩野川流域防災・河川環境教育検討会 規約（改正案） ②本年度実施した防災河川環境教育の取り組み ③実践ガイドの活用について ④平成29年度の取り組みに対する意見交換 ⑤その他（气象台からの情報提供）



第1回会議の様子



第2回会議の様子

第1回会議での意見（意見交換での意見）	第2回会議での意見
<p><b>【防災意識の普及】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育だけではなく、<u>川と日常のくらしを意識するような場を用意</u>すると良いと思う。例えば、地域の防災訓練の中に、河川防災の話を入れる等。</li> <li>狩野川放水路などの<u>地域資源を上手く活用</u>していきたい。</li> </ul> <p><b>【流域での意識、実情の違い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>狩野川上・中流域と下流域では、実情が異なる</u>。例えば、狩野川放水路の役割や恩恵は、沼津に住む人にはあまり意識がないように感じる。</li> </ul> <p><b>【防災・河川環境教育への期待】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊坂小の目指す所は、郷土愛を育むこと。これまでは総合学習で狩野川台風を取り上げてきたが、今回の「防災・河川環境教育」を通じて<u>教科まで拡大</u>することが出来そうなので、ありがたいと感じている。</li> </ul>	<p><b>【モデル校の反応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>20年来狩野川台風を学ぶ会を実践してきたが、それが形骸化してきた部分があり、防災教育を進める機運があるなかで、子供達の学習を深くするために教科単元との結びつきがあれば良いなと思っていたので、<u>モデル校として指定され、ありがたかった</u>。</li> <li>教材資料がとても良く、学校では作り得ないものであり、<u>子供達が食い入るように授業を受けていた</u>。</li> </ul> <p><b>【防災・河川環境教育の効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育効果は素晴らしい結果が得られている。児童が家庭で話すということは家族のコミュニケーションにも繋がり、防災面でも効果がある。</li> <li>8割の児童が試行授業の事を家庭で話をしたという結果は多い数字。子供が能動的に学習できた証である。<u>子供達の防災に対する意識は確実に高まった</u>。</li> <li>ハザードマップの存在を忘れていた家庭も多かったと推察される中で、防災教育を通して、改めて注目していただいた。</li> </ul> <p><b>【今後の展開】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の試行授業は先生のなかでもリーダー的な存在の先生が中心となって進めることができたので良い授業が展開できた。<u>どの先生でも防災教育を指導できるよう今後もサポートをお願い</u>したい。</li> </ul>